

本説明会はアーカイブ配信用に録画いたします。予めご了承ください。

15時から開始しますので、もうしばらくお待ちください。

研究成果展開事業
大学発新産業創出プログラム (START)
大学・エコシステム推進型
スタートアップ・エコシステム形成支援

みちのくGAPファンド 公募説明会資料

みちのくアカデミア発スタートアップ共創プラットフォーム MASP(Michinoku Academia Startup Platform)



弘前大学

岩手大学
IWATE UNIVERSITY



秋田大学
Akita University

山形大学
Yamagata University



国立大学法人
福島大学
Fukushima University

真の強さを学ぶ。
新潟大学
NIIGATA UNIVERSITY

長岡技術科学大学
Nagaoka University of Technology

公立大学法人
宮城大学
MIYAGI UNIVERSITY



信州大学

I .みちのくアカデミア発スタートアップ共創プラットフォーム について





東北・新潟の大学が一体となってアカデミア発 スタートアップ創出に取り組む体制を強化

JST-START スタートアップ・エコシステム形成支援を活用（2022年5月採択発表）

期間：2022年度～2026年度の5年間



東北・新潟の10大学が一体となって、

- アントレプレナーシップ人材育成
- 起業環境の整備
- スタートアップ・エコシステムの形成
- **起業活動支援**
「みちのくギャップファンド」

に横断的に取り組み、アカデミア発スタートアップ創出を加速し、地域の経済活性化と高度人材定着化を促進

5年間で

- 東北・新潟の大学等で、スタートアップ+200社の実現を目指す（2020年現在224社）

SENDAI STARTUP ECOSYSTEM

東北・仙台
スタートアップ・エコシステム

弘前大学
秋田大学
岩手大学
山形大学
東北大学
宮城大学
新潟大学
長岡技術科学大学
福島大学
会津大学

みちのくアカデミア発
スタートアップ共創プラットフォーム

MICHINOKU ACADEMIA STARTUP PLATFORM



実施項目	具体の実施内容			
<p>起業活動支援</p>	<p>みちのくGAPファンド運営 R4年度：通常枠@500万円×28件程度＋特別枠@2,000万円程度×2件程度 R5年度～R8年度：@200万円×10件程度</p>	<p>メンタリング・ビジネスモデルブラッシュアップ</p>	<p>セミナー・ワークショップ開催 〔内容〕 資本政策、事業戦略、知財戦略、法務戦略、失敗学、エフェクチュエーション</p>	<p><DEMO DAY> ①みちのくデモデー、 ②拠点都市プログラム等（TGAデモデー等）</p>
<p>アントプレナーシップ人材育成</p>	<p>みちのく起業家教育（EDGE-NEXTプログラムの経験・ノウハウの活用等）</p>	<p>海外研修（米UCバークレー、仏エコールポリテクニク等）</p>	<p>ピッチイベント開催 〔内容〕 学生・教職員対象のイベント（みちのくイノベーションキャンプ等） ↓ GAPファンド採択者、指導・支援人材、コンソーシアム内に展開</p>	<p>・プラットフォーム内外ネットワーク構築 ・審査体験を通じた指導・支援人材養成</p>
<p>エコシステムの形成・発展</p>	<p>プラットフォーム推進会議や東北地域ベンチャー支援エコシステム連絡協議会の運営</p>	<p>コミュニティの形成（ウェブサイト構築・コミュニケーションツール導入）</p>		
<p>起業環境の整備</p>	<p>一元的な起業相談窓口</p>	<p>起業関係学内規程の共有・整備</p>	<p>プロトタイプ製作・プロトタイプデザイン教育研修</p>	<p>みちのく大学間起業支援室ネットワーク（MuNES）</p>



紫字：令和3年度補正予算による支援		6月 ・7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
みちのくGAP ファンド	GAPファンド	通常枠@500万円×28件程度 +特別枠@2,000万円程度 （注：最大3,000万円） ×2件程度 （R3年度補正により金額・件数 を増やして実施、なお、案件 の内容や分野・進捗を踏まえ、 審査等により増減額あり）	・公募 説明会 （書面審査） 採択							
	伴走支援	・セミナー ・ワークショップ ・メンタリング・壁打ち			プログラム実施（事業化検証・伴走支援） セミナー → 基礎教養リベラルアーツ（資本政策、事業戦略、知財・法務等） ワークショップ → エフェクチュエーション理論・実践 メンタリング・壁打ち → VC・アクセラレーター等による個別支援等					
	DEMODAY	・みちのくDEMODAYを 単独開催 （R3年度補正） ・他イベント（TGA DEMODAY等）との 連携開催 （R3年度補正）								みちのく Demoday TGA Demoday

5/23みちのくGAPファンド運営協議会#1/みちのくBRAVE

6/15(水)公募説明会

公募:6/15(火)~7/14(木)正午公募〆切

書面審査7/19(火)~7/26(火)正午まで

審査会8/3(水)

第2審査会8/5(金)am

Ⅱ. みちのくGAPファンド 公募概要 (公募要領よりポイントを抜粋)





(1) 趣旨・目的

「みちのくアカデミア発スタートアップ共創プラットフォーム」参画大学の研究者等を対象とした**大学等発ベンチャーの創出を目指すGAPファンド**で、**研究成果の事業化に向けて、ビジネスモデルのブラッシュアップ、試作品製作、仮説検証のためのデータ等の整備を進めるための資金**です。

(2) 支援内容

- 顧客課題の把握、顧客課題解決のための最低限の機能を備えたプロトタイプ^oの作成や、その基盤となる知財の確保のための調査などが行えます。
また、実施期間中、顧客課題仮説および解決策仮説を検証・再構築することを目指します。
- 各種相談会やセミナーを実施し、起業に向けた知見の提供機会も設けます。



(3) 対象

以下の**10大学**に所属する**教職員及び修士・博士課程の学生**

東北大学、弘前大学、岩手大学、秋田大学、山形大学、福島大学、新潟大学、
長岡技術科学大学、宮城大学、会津大学

※6年生課程とされている学部等の5・6年生で研究室に配属されている学生は研究代表者となることができます。

(4) 実施期間及び研究開発費（GAPファンド）

●実施期間：令和4年9月頃(予定)～令和5年3月（約7か月間）

●研究開発費（GAPファンド）：

①通常枠：1件当たり直接経費500万円以下（評価結果により最大700万円）

②特別枠：1件当たり直接経費2,000万円程度（1,000～3,000万円上限）

※①②とも直接経費とは別に30%の間接経費が措置されます。）

区分	内容	金額 (単位：千円)
物品費		
旅費		
人件費・謝金		
その他		
合計		



(5) 申請要件

以下の①～⑥の要件を全て満たすこと(学生は+⑦、特別枠は+⑧)。

- ① 応募時点において、研究開発課題の核となる技術シーズの発明者である、もしくは発明に関わった者であること。
- ② 技術シーズを利用したスタートアップ企業の設立、事業化等により、大学等の研究成果の社会還元を目指していること。なお、**すでに起業している案件については申請対象外**となります。
- ③ 技術シーズについては、本支援を通じて創出されるスタートアップ企業の実施に関してその技術シーズの発明者、技術シーズが所属する機関等（特許出願人等）の同意が得られていること。
- ④ 本プラットフォームが目指すエコシステムの形成について、その趣旨を理解の上、貢献する意志を有すること。
- ⑤ 申請前までに**所定のe-learningを受講完了**すること。
- ⑥ 申請が採択された際には、所属する研究室等が責任をもって本事業の予算管理を行うこと（特に学生は指導教員の了解を得ておくこと）。
- ⑦ 学生(修士課程、博士課程)が研究代表者となる場合は、学生及び指導教員が双方が、以下の項目について確認したことを示す「**確認書**」を申請時に提出していただきます。
 - 学生と所属機関が、研究成果として生じる知的財産権の取り決めについて所属機関が合意すること。※なお、採択後、JSTに対して改めてJSTフォーマットの同様の書類を提出していただくこととなります。
- ⑧ 特別枠への申請にはVCが適切にハンズオン支援することや、支援終了後に起業する場合、VCの出資可能性があることを示すことが必須となっていることから「**出資関心表明書**」を申請書に併せて提出していただきます。



(6) 特別枠申請条件

- ・ 過年度に一定の成果を上げており（みちのくGAPファンド採択など）、事業化の加速のために多額の資金が必要不可欠であること

※特別枠と通常枠の併願はできません

- ・ 申請時にVCと一緒にチームアップし、VCが適切にハンズオン支援すること
- ・ 申請書にVCの支援内容等を記載のうえ審査会にてVCもプレゼンすること
- ・ （再掲）GAPファンド支援終了後に起業する場合、VCの出資可能性があることを示すこと→VCによる「出資関心表明書」の提出
- ・ VCがJST等からの要請により、JST・委員等に対し進捗状況を報告すること
- ・ VCによるハンズオン支援を大学の産連担当者等が学ぶ仕組みを実施すること



(7) 申請に際しての注意事項

- (再掲) 申請前にe-learningプログラムを必ず受講いただきます
- **東北大学所属の方**を研究代表者とする研究開発課題については、東北大学のビジネス・インキュベーション・プログラム **(BIP) の支援期間中のもの**については、同一研究開発課題による本公募への申請はできません。
- JST 大学発新産業創出プログラム (START) 内の「**SBIR フェーズ 1 支援 (技術移転による技術シーズの事業化を目指す場合)**」以外のSTARTの制度に関し、研究開発課題を**申請または実施している課題については、本公募への申請はできません。**ただし、申請済み課題の不採択が既に決まっている、または実施中課題が終了し当該起業活動支援プログラムの実施期間と重複しない場合は、当該起業活動支援プログラム申請可能です。
- JST制度以外の他組織による支援制度においても不合理な重複・過度の集中は避けてください。場合によっては、JSTからの指導に基づき、選考対象からの除外や採択の決定の取消し、又は経費の削減が行われる可能性があります。



(8) 今後のスケジュール

公募開始	6月15日 (水)
e-learningプログラム受講申請	7月 7日 (木) 正午 締切
公募締切(e-learning受講完了)	7月14日 (木) 正午 締切
書面審査	7月中旬～7月下旬
審査会 (申請者によるプレゼン審査)	8月3日 (水) (予定)
本プログラム開始	9月頃～ (令和5年3月まで)

本プログラム開始時期は、JSTとの契約手続きの関係によりスタート時期が変更します。



(9) 公募申請手続き

下記のとおり、2段階の申請手続きが必要となります。

申請検討中の方は、
早めにお申し込みください！
申請書作成に役立つ内容を盛り込んでい
ます（所要時間2時間）

締切
7/7(木)
正午

e-learningプログラム受講申し込み

本公募に申請しようとする方は、以下のフォームに必要事項を記載のうえ、e-learning受講申し込みを済ませてください。

※e-learning「みちのくGAPファンド申請者必修科目」は申請(7/14)までに必ず受講すること。

受講申し込みフォーム：

<https://forms.gle/PitswYXzfLcLrNyP8>

申請資料一式を事務局に提出

事務局指定クラウド上（xdriveを使用）にて申請資料一式をご提出願います。

※申請区分（通常枠/特別枠）によって提出物が異なりますのでご注意ください。

【通常枠】

- ①ワード申請書
- ②パワーポイントプレゼン資料
- ③5分以内のプレゼン動画
- ④知財に関する確認書（学生のみ）

【特別枠】

- ①ワード申請書
- ②パワーポイントプレゼン資料
- ③5分以内のプレゼン動画
- ④知財に関する確認書（学生のみ）
- ⑤VC出資関心表明書

締切
7/14(木)
正午

申請資料提出先：（HPからリンクあり）

<https://xdrive.tohoku-kc.co.jp/index.php/s/QJ2woqemxW3FQrG>



e-learningの受講について（受講申込締切：7/7(木)正午）

<https://forms.gle/PitswYXzflCfLrNyP8>

受講可能なコース ▶ みちのくGAPファンド申請者用【e-learning】

完了
みちのくGAP
ファンド申請者必修科目
みちのくGAPファンド申請者必修科目

未
研究者のための経営学習
みちのくGAPファンド申請者用
[e-learning]
研究者のための経営学習

未
エフェクチュエーション
みちのくGAPファンド申請者用
[e-learning]
エフェクチュエーション

未
資本戦略
みちのくGAPファンド申請者用
[e-learning]
資本戦略

未
ファイナンス
みちのくGAPファンド申請者用
[e-learning]
ファイナンス

未
会社設立
みちのくGAPファンド申請者用
[e-learning]
会社設立

学習完了
研究者のための経営学習

完了
エフェクチュエーション

完了
資本政策

完了
ファイナンス

完了
会社設立

完了
機関設計

完了
知的財産

下図のとおり、
全て「完了」となれば
受講済みとなります
※事務局は完了確認できますので、
完了の連絡は不要です。

- 所要時間 2 時間
- 申請時まで必修科目の受講が必須です



(10-1) 審査の流れ

7月
中～下旬

書面審査員による評価

書面審査員が申請書に基づき、事業化移行で重要とみられる8つの項目について評価します。

書面審査結果の通知

申請者に対して、みちのくGAPファンド運営事務局より選定結果につき通知します。

8/3(水)
予定

オンライン審査会を実施

通常枠の当落線上の数件および**書面選定を通過した特別枠**については、申請者/共同申請者（特別枠は協力VCも参加必須）から、審査員に対してパワーポイントのプレゼン資料にて「日本語」にて説明をしていただきます。

8月中旬

申請者への採否通知、公表

申請者に対してみちのくGAPファンド運営事務局から採択・不採択について通知します。



(10-2) 審査の観点

申請書に基づき、事業化移行で重要とみられる、以下の8つの項目について書面審査員・審査員が評価します。なお、公募要領にも記載していますが、特別枠については**注目するポイント**がありますのでご注意ください。

- ①顧客の課題
- ②解決策
- ③技術・知財
- ④マーケット
- ⑤ビジネスモデル
- ⑥チーム
- ⑦計画
- ⑧研究開発費

上記評価に加え、下記のとおり審査を通じて総合的に判断されます。

- ・研究開発課題が大学の研究成果の社会実装を進め、新産業・新規事業領域の開拓に貢献できるものか
- ・実施内容と想定される事業が、大学が関与する事業として相応しいものであるか
- ・プロジェクトに参画する者と関係者との利益相反に関して適切に整理されているか



各種申請資料のひな形は公募HPよりダウンロードできます ↓

<https://michinoku-academia-startup.jp/michinokugapfund2022/>

<通常枠> 令和4年度 みちのくGAPファンド

※本データは「通常枠」申請用のひな形資料です。
 ※作成後この赤枠は削除してください

- word申請書記載の項目を、申請技術領域に詳しくない方・初見の方にもわかりやすくお伝えいた度よう願っています。
- 様式・スライド枚数の変更は行わないこと
- 書面審査通過後の審査会では**本プレゼン資料のみ**を用いて、●分間で発表いただけます。

申請タイトル

研究代表者 所属・役職・氏名

ヘッダーに所属・氏名・申請タイトル

通常枠 みちのくGAPファンド

申請書

※ (研究代表者) は、申請にあたって、所定のe-learningを受講しました。

1. 申請概要

申請タイトル	簡潔に事業アイデアを言い表す
領域	どのような産業・技術分野に関わるものか
概要	「だれの」「どのような課題に対して」「どのような技術を用いて」「どのような課題解決策を提供するのか」といった項目につき、簡潔に説明

2. 申請者・協力者基本情報

研究代表者名	
所属	
役職	
住所	
アドレス	
電話番号	

協力者名	
所属	
役職	
住所	
アドレス	
電話番号	

※複数協力者がいる場合は別添に同一フォーマットにて記載してください。
 ※大学院生が研究代表者の場合には、協力者に指導教員を含めてください。
 ※各申請項目は、赤枠内を参考に記載してください(記載に際して削除ください)。
 ※各項目はそれぞれ1ページに収めていただくようお願いいたします。



5分以内のプレゼン動画について

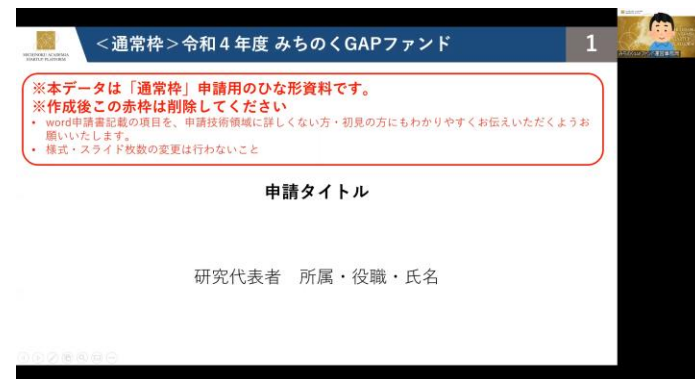
- プレゼン動画は所定のパワーポイント資料を使用し、「日本語」にて5分以内で発表撮影したものを送ってください。
- プレゼン動画の撮影/録画方法の指定はありませんが、Zoomなどの録画機能を使用することを推奨します。
- 一般的に5分の発表だとすると、日本語では原稿用紙5枚未滿1300-1600字程度とされています。各ページ30秒～1分以内で話すイメージです。

【Zoomを用いたプレゼン動画作成方法】

- ① Zoomにサインインし、「新規ミーティング」を開く
- ② 「画面の共有」から予め開いておいたプレゼン資料を選択する
- ③ 「詳細」ボタンから、「このコンピュータにレコーディング」を選択し、発表開始
- ④ 発表終了後、「レコーディングを停止」を選択
- ⑤ Zoomを閉じると自動的にMP4ファイルがダウンロードされます

※Zoom以外の方法でも構いません

完成イメージ（参考）



お問い合わせ先

みちのくGAPファンド運営事務局
(東北大学ナレッジキャスト株式会社内)

<https://forms.gle/EBGi4Xe5vii9S9yX7>